

The Delphion Integrated View

Buy Now: ☒ PDF | File History | Other choices

Tools: Add to Work File: Create new Work File

View: INPADOC | Jump to: Top

Go to: Derwent

☐ Email this to a friend

Title: **JP2000350249A2: DEVICE AND METHOD FOR VOICE RESPONSE POSITIONING**

Derwent Title: Location warning apparatus has warning functional unit which detects the indication of user input voice and alerts the location information of portable telephone [Derwent Record]

Country: **JP Japan**

Kind: **A2**

Inventor: **YAMAGUCHI KATSUMI;**

Assignee: **NEC COMMUN SYST LTD**
News, Profiles, Stocks and More about this company

Published / Filed: **2000-12-15 / 1999-06-03**

Application Number: **JP1999000156254**

IPC Code: Advanced: **H04M 1/00; H04Q 7/34;**
Core: more...
IPC-7: **H04M 1/00; H04Q 7/34;**

Priority Number: **1999-06-03 JP1999000156254**

Abstract: **PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a device and a method for voice response positioning for a portable telephone set, which gives vocal notice of the location by inputting a registered key word in voice.

SOLUTION: The voice response positioning device is equipped with a positioning part 10, a still state detection part 12, a sounds reception part 14, and a sound generation part 16 and the positioning part 10 detects a voice entering the sound reception part 14; when the portable telephone set is judged to be kept still from the information of the still state detection part 12, a previously registered voice pattern for positioning is read and the sound generation part 16 gives position. Consequently, the portable telephone set reacts to, for example, a human voice and gives position.

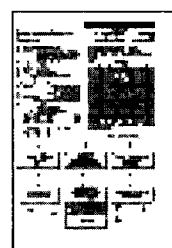
COPYRIGHT: (C)2000,JPO

Family: **None**

Other Abstract Info: **DERABS G2001-131827 DERABS G2001-131827**



Nominate this for the Gallery...



View Image

1 page

(19)日本特許庁 (J P) (12) 公開特許公報 (A) (11)特許出願公開番号
特開2000-350249
(P2000-350249A)
(43)公開日 平成12年12月15日 (2000. 12. 15)

(51)Int.Cl.⁷ 識別記号 F I テーグコード* (参考)
H 0 4 Q 7/34 H 0 4 B 7/26 1 0 6 A 5 K 0 2 7
H 0 4 M 1/00 H 0 4 M 1/00 H 5 K 0 6 7

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 4 頁)

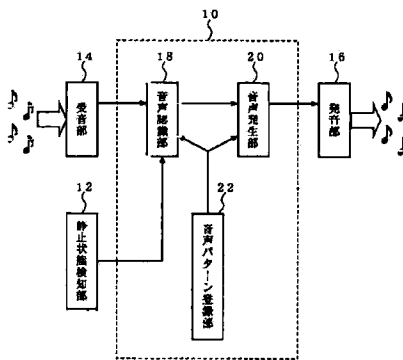
(21)出願番号	特願平11-156254	(71)出願人	000232254 日本電気通信システム株式会社 東京都港区三田1丁目4番28号
(22)出願日	平成11年6月3日 (1999. 6. 3)	(72)発明者	山口 克巳 東京都港区三田一丁目4番28号 日本電気 通信システム株式会社内
		(74)代理人	100086645 弁理士 岩佐 義幸
		Fターム (参考)	5K027 AA11 BB01 FF28 HH20 5K067 AA32 BB04 EE02 FF03 FF25 FF32 FF40 HH22 HH23

(54)【発明の名称】 音声反応式所在報知装置および方法

(57)【要約】

【課題】 登録したキーワードを音声により入力することで携帯型電話機が音声により、所在を報知する携帯型電話機における音声反応式所在報知装置および方法を提供する。

【解決手段】 音声反応式所在報知装置は、所在報知機能部10と静止状態検知部12と受音部14と発音部16とを備え、受音部14に入って来た音声を所在報知機能部10が検知し、静止状態検知部12の情報から携帯型電話機が静止中であるとき、あらかじめ登録してある所在報知用音声パターンを、発音部16から所在報知をおこなう。これにより、たとえば人の声に反応し携帯型端末機がその所在を報知することができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ユーザからの所在報知の音声による指示を入力すると、所在報知手段により携帯型電話機が自身の所在を報知することを特徴とする音声反応式所在報知装置。

【請求項2】前記携帯型電話機の静止状態を監視し、前記音声による指示が入力されたとき、静止中であるときのみ所在報知をおこなうことを特徴とする請求項1記載の音声反応式所在報知装置。

【請求項3】携帯型電話機自身が静止状態か否かを監視する静止状態検知部と、通話用のマイクであり音声を受話し、音声信号を送出する受音部と、送話するスピーカであり、音声信号を音声にして報知する発音部と、前記受音部から所在報知の音声を取得し、前記静止状態検知部から静止状態であるか否かの状態を取得し、静止中であるとき所在報知のメッセージを発生し、前記発音部へ送出する所在報知機能部と、を備えることを特徴とする音声反応式所在報知装置。

【請求項4】前記所在報知機能部は、ユーザからの所在報知の指示となるキーワードである所在報知機能用音声（音）パターンと、ユーザからの所在報知指示に答える音声メッセージである所在報知用音声パターンとを格納する音声パターン登録部と、前記受音部からの入力と前記静止状態検知部の検知状態を監視し、前記音声パターン登録部から所在報知機能用のキーワードを読み出す音声認識部と、前記音声認識部からの所在報知指示により、前記音声パターン登録部から所在報知用音声パターンを読み出し、前記発音部に音声信号を出力する音声発生部と、を有することを特徴とする請求項3記載の音声反応式所在報知装置。

【請求項5】音声（音）を検知し、あらかじめ登録しておいた音声パターンと前記音声とを照合し、照合の結果、前記音声パターンと一致した場合は静止状態を取得し、取得した状態が静止中である場合はあらかじめ登録しておいた所在報知用音声（音）パターンを読み出し、所在報知音声（音）を出力することを特徴とする音声反応式所在報知方法。

【請求項6】a) 音声（音）を検知するステップと、
b) ステップaで音声が入力されると、あらかじめ登録しておいた、音声パターンと前記音声とを照合し、所在報知指示であるか否かを判断するステップと、
c) 判断の結果、所在報知指示ではない場合は処理を終了し、判断の結果、所在報知指示である場合は、静止状態を取得するステップと、
d) 静止状態が静止中であるか否かを判断するステップと、
e) 判断の結果、静止中でない場合は処理を終了し、判

断の結果、静止中である場合は所在報知指示をおこなうステップと、

f) あらかじめ登録しておいた、所在報知用音声（音）パターンを読み出すステップと、

g) 所在報知音声（音）を出力するステップと、を含むことを特徴とする音声反応式所在報知方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、キーワードを音声により入力することにより携帯型電話機がその所在を音声により報知する携帯型電話機における音声反応式所在報知装置および方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の端末装置の呼び出し方式の一例が、実開昭64-29933号公報に記載されている。この公報に記載された個別呼出し受信装置は、複数の報知情報を格納する第1の記憶手段と、報知情報の各々に対応する特定コードを格納する第2の記憶手段と、特定のコードに対応する音声信号を格納する音声信号記憶手段と、特定コードに基づいて音声信号記憶手段から対応する音声信号を読み出す音声信号読み出し手段と、読み出された音声信号を音声出力する音声出力手段とを備え、受信装置がメッセージの受信を検知すると、メッセージに含まれる特定コードから前記第1および第2の記憶手段を参照し前記音声信号記憶手段から音声信号を取得し、音声出力手段から音声出力をおこなう。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の携帯電話機の機能では、携帯電話機使用者が、携帯電話機を携帯していない状態において、その所在を見失った場合、即座に所在をつきとめることができなかった。また、従来例にあるように他の電話機から携帯電話機を発呼させ、る方法もあるがその方法は、携帯電話機が必ず基地局側で在圏登録されていなければならなかった。つまり室内などの電波の届きにくい場所では、携帯電話機の捜索は困難であった。

【0004】本発明の目的は、あらかじめ登録したキーワードにより、携帯型電話機がその所在を音声により報知する携帯型電話機における音声反応式所在報知装置および方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の音声反応式所在報知装置は、携帯型電話機自身が静止状態か否かを監視する静止状態検知部と、通話用のマイクであり音声を受話し、音声信号を送出する受音部と、送話するスピーカであり、音声信号を音声にして報知する発音部と、前記受音部から所在報知の音声を取得し、前記静止状態検知部から静止状態であるか否かの状態を取得し、静止中であるとき所在報知のメッセージを発生し、前記発音部へ送出する所在報知機能部とを備えることを特徴とする。

【0006】本発明の音声反応式所在報知方法は、音声（音）を検知し、あらかじめ登録しておいた音声パターンと前記音声とを照合し、照合の結果、前記音声パターンと一致した場合は静止状態を取得し、取得した状態が静止中である場合はあらかじめ登録しておいた所在報知用音声（音）パターンを読み出し、所在報知音声（音）を出力することを特徴とする。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明は、携帯型電話機において、音声認識機能を使用した、携帯型電話機が自身の所在を報知する機能を持ち、更に所在報知時の携帯型電話機自身の静止状態検知機能を設けたものである。

【0008】本発明の実施例の構成を図1を参照し詳細に説明する。図1は、本発明の音声反応式所在報知装置の構成を示す図である。

【0009】音声反応式所在報知装置は、図1に示すように、所在報知機能部10と静止状態検知部12と受音部14と発音部16とを備える。所在報知機能部10は、音声認識部18と音声発生部20および音声パターン登録部22とを有する。

【0010】静止状態検知部12は、携帯型電話機自身が静止状態か否かを監視する。受音部14は、通話用のマイクであり音声を受話し、音声信号を所在報知機能部10へ送出する。発音部16は、送話するスピーカであり、所在報知機能部10からの音声信号を音声にして報知する。

【0011】所在報知機能部10は、受音部14にユーザからの所在報知の音声を受話されると、受話された音声を取得し、静止状態検知部12から静止状態であるか否かの状態を取得し、静止中であるとき所在報知のメッセージを発生し、発音部16へ送出する。

【0012】音声パターン登録部22は、ユーザからの所在報知の指示となるキーワードである所在報知機能用音声（音）パターンとユーザからの所在報知指示に答える音声メッセージである所在報知用音声パターンとを格納する。また、音声パターン登録部22は、所在報知機能用音声（音）パターンにユーザの声の情報を付加することもできる。

【0013】音声認識部18は、受音部14からの入力と静止状態検知部12の検知状態を監視し、音声パターン登録部22から所在報知機能用のキーワードを読み出す。音声発生部20は、音声認識部18と発音部16との間に位置し、音声認識部18からの所在報知指示により、音声パターン登録部22から所在報知用音声パターンを読み出し、発音部16に音声信号を出力する。

【0014】図1に示すように、受音部14に入ってきた音声（音）を所在報知機能部10が検知し、静止状態検知部12の検知状態が静止中であった場合、あらかじめ登録してある所在報知用音声パターンを、発音部16に送り発音部16から所在報知をおこなう。これによ

り、たとえば人の声に反応し携帯型端末機がその所在を報知することができる。

【0015】次に本発明の実施例の動作を図2を参照して説明する。図2は、本発明の音声反応式所在報知装置の動作を示す図である。

【0016】受音部14に入ってきた音声（音）を音声認識部18が検知する（ステップA1）。あらかじめ音声パターン登録部22に登録しておいた、所在報知機能用音声（音）パターンと照合し、所在報知指示であるか否かを判断する（ステップA2）。判断の結果、所在報知指示ではない場合は処理を終了する。判断の結果、所在報知指示である場合は、音声認識部18が静止状態検知部12の検知状態を読み出す（ステップA3）。静止状態検知部12は携帯型電話機自身が静止状態かを監視するものである。

【0017】音声認識部18は、静止状態検知部12から読み出した状態が静止中であるか否かを判断する（ステップA4）。判断の結果、静止中でない場合は処理を終了する。判断の結果、静止中である場合は音声認識部18が音声発生部20に所在報知指示をおこなう（ステップA5）。

【0018】音声発生部20は、音声パターン登録部22からあらかじめ登録しておいた、所在報知用音声（音）パターンを読み出し（ステップA6）、発音部16に送出する。発音部16は、音声発生部20からの出力を受けて所在報知音声（音）を出力する（ステップA7）。

【0019】なお音声反応式所在報知装置は、携帯型電話機に搭載されているが各種装置に取り付けることが可能である。

【0020】

【発明の効果】本発明の音声反応式所在報知装置は、携帯型電話機に所在報知機能を設けることにより、携帯型電話機を見失った場合に人がキーワードを発声するか、ある音を出せば携帯型電話機がその音声（音）に反応し所在を報知してくれることにある。

【0021】また、音声反応式所在報知装置は、携帯型電話機を所持中で有ることを検出するための静止状態検知部を設けているため携帯型電話機を所持中に、キーワードあるいは音を出してしまった場合に誤動作を起こさないことにある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の音声反応式所在報知装置の構成を示す図である。

【図2】本発明の音声反応式所在報知装置の動作を示す図である。

【符号の説明】

10 所在報知機能部

12 静止状態検知部

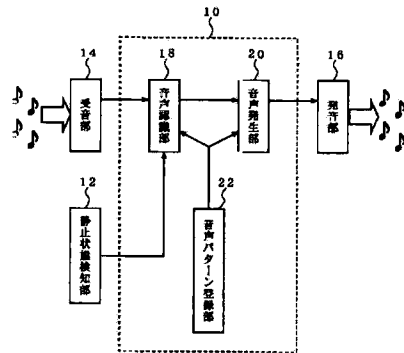
14 受音部

!(4) 000-350249 (P2000-350249A)

16 発音部
18 音声認識部

20 音声発生部
22 音声パターン登録部

【図1】



【図2】

